

記 者 会 見
2 6 . 9 . 2
資 料 3

市内公立中学校の普通教室への空調設備の設置について

近年の猛暑により、各学校では高温多湿の中で授業を行うことも多く、児童や生徒に対して、これまで以上に健康管理に配慮する必要があります。

このことから本市では、市内の全9校の公立中学校の普通教室などに空調設備を設置し、2学期（8月29日）から使用を開始しました。

なお、今後は全13校の公立小学校にも空調設備を設置し、今年度末からの使用を予定しています。

1 設置した学校

市内の全公立中学校 9校（全体の生徒数4159人）

2 設置した教室

211教室（9校）
 （内訳）普通教室等：165教室
 図書室などの特別教室：46教室



3 工事費

3億8845万404円（9校）
 ※ 国庫補助事業「好循環実現のための経済対策」を活用しています（工事費の1/3以内・約1億846万円の歳入見込み）。
 ※ 今後予定している小学校の工事費も合わせると、全体で約12億円を見込んでいます（約3億1048万の歳入見込み）。

4 空調設備の特徴

空調の熱源は、震災による原子力発電所の事故やエネルギーの分散化等を踏まえ、比較的安価なコストで安全・安定的な供給が可能な「プロパンガス」にしました。

また、バルクタンクと呼ばれる定置型



のガス貯槽器で、一定量のプロパンガスを貯蔵できる仕組みになっていて、災害時における復旧の早さを生かした避難場所機能の充実を図ります。

5 省エネ対策の推進

小中学校で使用する電力供給については、今年7月からPPS（特定規模電気事業者）に変更しました。これにより、年間で約1000万円の電力経費削減を見込んでいます。

また、その運用に当たっては統一的な運用指針を策定し、効率的・効果的に進めていきます。

※PPS：東京電力など既存の大手電力会社である一般電気事業者とは別の、特定規模電気事業者（Power Producer and Supplier）。「契約電力が50kW以上の需要家に対して、一般電気事業者が有する電線路を通じて電力供給を行う、小売自由化部門への新規参入事業者。

問い合わせ 教育総務課 電話0463（84）2783